



伊地知文庫
文庫20
284
1





伊地知氏書冊



出づるも
 せしむるも
 上中下の人
 くふの
 なるもの
 なるもの
 なるもの

お時お暮るにほきてせむるお一は
アありさうわのちよ月と雲とを
歌して七十一巻よちよあて職人
お合とらく書ならいじりたての
此書こののこはあかしくおひら
あふ糸と本のたれをくこりすか

しんげんをちてかこらたあむら
なよらぬうにふらりあしあし
茶のあ後くあ井らたあ
まきひよそあまらあむら
あふたあしあふたあ
あふたあしあふたあ

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 10 vertical lines of characters.

Handwritten text in cursive Japanese style (sōsho), consisting of approximately 10 vertical lines of characters.



天^{あめ}地^{つち}ひらきま^り時^{とき}さの^かこ^らく^て終^つり^し
けり^しら^し道^{みち}を^まゆ^ふま^とち^がひ^まて^しよ^終は^り乃^は
乃^はと^して^まら^しに^また^やま^しと^りあ^らわ^り
て^吾邦^{わがくに}の^ゆち^わさ^なり^けも^いれ^れ道^{みち}に^も
も^通ひ^んふ^ふと^もお^かれ^し合^あは^り光^あこ^し
と^れあ^らま^りと^らる^るの^むし^りも^も
心^{こころ}の^なら^まり^あま^り整^{ととの}え^られ^しと^らり^て
と^らく^たち^とし^りに^くす^しと^合約^{あつやく}の^むし^り
い^づれ^とも^いて^し定^{ちやう}議^ぎあ^りて^判多^た
る^ゆへ^にい^て興^{きやう}ま^りけ^りや

七十一番歌合

題

月

意

左 一番

そふりすたるも 月夜もさむらひのまはるる

右

水のきあはれなるも 月夜もさむらひのまはるる

たのしみもあはれなるも 月夜もさむらひのまはるる

ゆめもあはれなるも 月夜もさむらひのまはるる

れいもあはれなるも 月夜もさむらひのまはるる

と一夏の右あきはたすくしておぼし申る

く終りしあはれなるも 月夜もさむらひのまはるる

う終りしあはれなるも 月夜もさむらひのまはるる

たあしとておぼしなるも 月夜もさむらひのまはるる

どのすきあはるるも 月夜もさむらひのまはるる





こうりつさ

きくーが
おのこらう

らんた

あまらう

五女

くちやしむるにまきたるゆへに新米の道をはるくまげられて
 あつてくさぬけりてきねの長らふるおの月をうくちぞう
 たす月ままびしるく奉入月を新がぬよびりばあ
 ーかあといやむ月改くそく改らりまといひて子あ
 くらよめくたも右勝母いそ

あまらういふまじうとせめれけいらのぶらうりこくそねんら
 とがきんいひひまのむまぶねまのめぞり何めをいひに
 まごせめり様ひだぶらうりこくもくもくはまあわく
 さいゆちんいひのむらひゆの月れあももま
 はまあぶひいありのぬいりせなまにいきり
 いた勝ゆりー



六巻

名申一ねを秋の作ももろはるもてひに秋の月をまら
 ちらさけのすみういひはれは車流りのつちたはるひに
 たひのよの九月てひの十月とてくはあてらるる
 こいつけてまうも月とゆらめり右に秋の月
 よびひくまははるひのつちたはるすまはる
 海にまの風情とてくはあてらるるひに秋の月
 ちたれやけの車流りもまはるもてひに秋の月をまら
 秋意のよやす秋てまはるひのつちたはるひに
 たのすはるもまはるもてひに秋の月をまら
 やゆらんちのいひくはあてらるるひに秋の月をまら

あつらひ

竹のつらみ
山崎のつらみ
つらみ

あつらひ

あつらひ

あつらひ
あつらひ



八番

あで流しよとらとつて老うらけのきとせ
う心もまことの中目海をうねりし
危篤づつ母のけしきをうねりし
志くわとよあるたくと色
あつらひすしつてつらみ

あつらひすしつてつらみ
あつらひすしつてつらみ
あつらひすしつてつらみ
あつらひすしつてつらみ
あつらひすしつてつらみ

とらんやん

三つあいで
ほのまう
あう



あまらあ

あこぜい

まのり

あひ

ていけり

十番

杖の頼もかきりあるけき馬のりよ一息もきかやはる方々の
いそもんのきりうらむいそもんのあつらひにすすめり
月夜

危ねどもよとのまじり月夜
あひへうし者い造真何家けいもりゆめゆめ

ひばうらおげく雁うとけのきんきあひひわらひいよひんれ
あきあうらうらゆきもりうらうらうらわひつるあや今うら
たきりあひよれお慈とかがあきくこ地まよせ
つるあひよれお慈とかがあきくこ地まよせ
こくれら此河分りあひよれお慈とかがあきくこ地まよせ
一志まかりへ一あ粘

じまかひ



かんかひ

十一巻

秋を過ぎし月乃はちとよはに空なりはなむかきと秋つれぬ月けり
 風をいそいでふもいそいでふも風乃めらふもいそいでふもいそいでふも
 花はさうあうくけりよは月を思ふを平らる優よとあ
 おおいらり人をもやみよ縁を月あやすじとあをこれ
 いそいでふのあはれやをいそいでふのあはれやをいそいでふのあはれや
 りとらる縁乃うほり一はよあわとねはれとよらる縁乃うほり一はよあわと
 りとらる縁乃うほり一はよあわとねはれとよらる縁乃うほり一はよあわと
 右芥がくくも縁一をいそいでふのあはれや



十二番

かろりさろりつる中そあねまのよへつひあやほのぼや
 夕暮みなるつれぬぐうろと先傳のうけをあらつて糸のうら

たぢこもよおりうくゆりすあお

やとせやうあぢ守新^{あぢま}うろくあうろくあひのうら
 あさゆよあぢ^{あぢ}く糸が刃海くさるあかおかり糸やあさ^{あさ}が
 こい^{こい}あぢありあひく糸のき^きあさ^{あさ}あさ^{あさ}あさ^{あさ}
 むらうるや



二十番

あきらののりひかりと新野子と竹見と守と
 宇津のこいひにむすむすはあきの月のうけぬはよみあ
 あそきたふあ〜〜〜き〜ゆめめめ
 志をせむひの修もあつたひを結てこそとれぬ
 かなはれ兼道とてめをらてはたか海乃繩のひであれ
 たちこしなり 継り〜あれ作り〜毛と吹てさ
 ずは〜む〜す持らる

海へ

木がきりて
いづれのね
をうくなり
いづくまで



ち一表

やうじま人もわらぬおまきくんとを井の月松のゆりてん
 ひねるもやねもたむらうゆきうきうのゆりもあつ
 たけきまぬづさあむねがくの中く園も、たまて
 をうれるまぬこそさうらわしく梨もあはれぞりら
 ず罪殺のともあをれをくーまひぬるまやとて一
 はやもふうゆきうりたのちりもくもぬる長く
 やいひらこあは優たうあつはつとも同科あや
 くれしうはらやうすといひ新てあつあつあき地あは
 けあひああまうけいされあはらるるああああああ
 こもちもはあまやあさあこれ又勝願あつ
 向へ

きりぎりす

きりぎりす

きりぎりす

たけのこ

たけのこ

たけのこ

ゆき



たけのこ

たけのこは... けいり... けいり... けいり...

たけのこは... けいり... けいり... けいり...

美術書肆
 柏林社書店
 東京都文京区本郷6-25
 電話 811-5445

小

物



三十五

